

文書名	更新箇所	更新時期	備考
機能保証のためのリスク アセスメント・ガイドライン (本編)	「1-＜2＞ガイドラインの記載範囲」の節を挿入。これにより以降の節の番号は、それぞれ1ずつ増。	第2回説明会 2017年7月	この文書はリスクアセスメントのガイドラインであるが、一般的にはリスクアセスメントの範囲外とされる"目的の確認"や"妥当性確認・評価"のプロセスについても、併せて記載をしていることを説明するため。
	「1-＜4＞ガイドラインの構成」の表を更新。		新たに追加した文書について追記。
	「2-＜5＞リスクアセスメントの位置付け（俯瞰図）」の節を削除。		追加した「1-＜2＞ガイドラインの記載範囲」の節に同様の内容が含まれているため。
	6-＜2＞-（1）の図「リスクの特定の作業イメージ」を更新。		第1回のレポートで、業務の結果を生じる事象やリスク源にばらつきがあったため、説明のための図を更新。
	付録A. 用語の説明を更新。		-
	別紙1及び別紙2の名称及び記載内容の変更に伴う更新。	第4回説明会 2019年1月	別紙1及び別紙2の活用を促進するため。
	「別紙3 対策例」の新規作成に伴う更新。	第5回説明会 2019年9月	別紙3の概要及び活用の仕方を説明するため。
	「1-＜1＞ガイドライン策定の背景・目的大会」を更新	第6回 2020年10月	大会延期に伴い表現を修正。
別紙1 事業・重要サー ビス・経営資源（情報 資産）の例（重要サー ビス分野ごと）	大幅に更新。	第2回説明会 2017年7月	例を充実化。第1回の資料は別シートに保存。
	1頁目に全20分野の経営資源(情報資産)の例を列挙。「業務の阻害につながる事象の結果の例」は、2頁目に移動。	第3回説明会 2018年5月	リスクアセスメントの対象として検討する必要がある経営資源(情報資産)の例を提示するため。
	別紙1の名称変更及びその記載内容を大幅に更新。 リスクアセスメントの対象とする「事業」、「重要サービス」及び「経営資源（情報資産）」を、重要サービス分野ごとに例示。	第4回説明会 2019年1月	事業・重要サービス・経営資源の洗い出しの網羅性確保を推進するため。なお、本資料は該当分野の重要サービス事業者等のみに配布。
別紙2 業務の阻害につ ながる事象の結果、結果 を生じ得る事象（脅 威）及びリスク源の例	大幅に更新。	第2回説明会 2017年7月	第1回のレポートを参考に例を充実化。第1回の資料は別シートに保存。
	脅威を「外部不正」「内部不正」「外部事故」「内部事故」に区分け。脅威の新規事例等を数点追記。	第3回説明会 2018年5月	脅威の種類(分類)の明確化、情報の充実化のため。
	別紙2の名称変更及びその記載内容を大幅に更新。 業務の維持のために経営資源に求められる観点を踏まえた「業務の阻害につながる事象の結果」、「結果を生じ得る事象」及び「リスク源」を例示。	第4回説明会 2019年1月	業務の阻害につながる事象の結果、結果を生じ得る事象（脅威）及びリスク源の網羅的な洗い出しを促進するため。
	「リスク源の例（内容）」を追加。	第6回 2020年10月	新型コロナウイルスの感染拡大や大会延期による環境変化等を踏まえ、網羅的な洗い出しを促進するため。
別紙3 対策例	新規作成。	第5回説明会 2019年9月	リスク源に対して整備すべき対策及び運用すべき対策例を提示するため。
	「対策例」の追加、更新。	第6回 2020年10月	新型コロナウイルスの感染拡大や大会延期による環境変化等を踏まえ、整備すべき対策及び運用すべき対策例を提示するため。
別紙4 リスクアセスメント の実施手順（例）	「本文書の目的・位置づけ」のスライドの文書の構成図を更新。	第2回説明会 2017年7月	新たに追加した文書について追記。
	「リスクアセスメントの対象の特定 2/4」の図を更新。		様式3からサービスレベルを質問していることを明示するため。
	「リスクアセスメントの対象の特定 4/4」の図を更新。		「様式5 業務を支える経営資源の特定」を更新したため。
	「リスクアセスメント 1/3」の図を更新。		新たに追加した文書について追記。
	ガイドライン本編参照先のページを記載（P3～P17：スライド右下「関連資料」）		ガイドライン本編との照合をしやすくするため。
	別紙1及び別紙2の名称及び記載内容の変更に伴う更新。	第4回説明会 2019年1月	別紙1及び別紙2の活用を促進するため。
	「別紙3 対策例」の新規作成に伴う更新。	第5回説明会 2019年9月	別紙3の概要及び活用の仕方を説明するため。
	「別添1 実施結果提出様式」の変更に伴う更新。	旧第6回 2020年3月	別添1の実施結果提出様式の別紙A及び別紙Bを削除したため。
別紙4 リスク源の例 ＜2019.1廃止＞	「リスクアセスメントの対象の特定 2/4」、「リスクアセスメントの対象の特定 4/4」を更新。	第6回 2020年10月	横断的リスク評価への活用に関する記載を修正したため。
	ファイルを新規作成。	第2回説明会 2017年7月	第1回のレポートで、業務の結果を生じる事象やリスク源にばらつきがあったため、説明のための図を更新。
	リスク源の新規事例等を数点追記。	第3回説明会 2018年5月	リスク源の種類(分類)の明確化、情報の充実化のため。
	「リスク源」に係る記載の別紙2への集約に伴い、同紙を廃止。	第4回説明会 2019年1月	-
様式5 業務を支える経 営資源の特定	「交通機関、ライフライン（例：電気、水、ガス）」の列のグレーアウトを解除。	第2回説明会 2017年7月	横断的リスク評価に必要な情報をレポートで受領したいため。
	「その他」の列を「その他（例：取引先、サプライヤ）」に変更。		第1回のレポートで、取引先やサプライヤが重要であるとのコメントがあったため、記載できるように列の名称を変更。
様式6 リスクの特定・分 析	記載例の充実。	第4回説明会 2019年1月	別紙1及び別紙2の活用による、リスクアセスメントの対象となる情報資産及びリスクの網羅的な洗い出しを促進するため。

文書名	更新箇所	更新時期	備考
別添 1 実施結果提出 様式	報告者の記入欄の数を追加。	第2回説明会 2017年7月	第1回では5人分の記入欄を準備していたが、5人分すべて記載されたレポートを複数受領したため、記入欄を追加。
	A-①：「実施にあたり利用した手順について」の問を追加。		第1回で「すでに自組織においてリスクアセスメントを実施している場合はどのように回答すればよいか？」との質問を複数組織から受けたため、回答をしやすいするための問を追加。
	A-②：「開始時期」および「終了時期」の欄を削除し、「期間（開始日から終了日/記入日までの経過日数）」を追加。		第1回のレポートで、具体的な開始・終了年月日の記入がない回答が多かったため変更。
	B-①-4：実施しない理由の選択肢を追加。		第1回で受けた質問を反映。
	C：「リスク対応の活動状況について」の問を追加。		過去にリスクアセスメントを実施した組織にリスク対応もしくはフォローアップの状況を質問するため。
	E-④：「組織内CSIRTについて教えてください。」の問を追加。		2020年オリンピック・パラリンピックに向けたサイバーセキュリティ確保のための取組である「対処体制の整備」を進めるため、各組織における組織内CSIRTの連絡先を聴取したいから。
	別紙Aの転記元を様式2から様式3に変更し、「大会開催面での期待その他要求事項等を満たすために最低限許容されるサービスの範囲・水準」についても追加で転記いただくように変更。		横断的リスク評価に必要な情報を収集するため。
	「注意事項」のシートを追加。		NISCから各組織に注意いただきたいポイントを記載。
	C②、③、④：第2回で同様式B.②、⑧、⑨の回答をした事業者向けに、その後のフォローアップ状況を確認するため、B.②、⑧、⑨と同じ内容を確認する項目を新設。	第3回説明会 2018年5月	過去にリスクアセスメントを実施した組織にリスク対応もしくはフォローアップの状況を質問するため。
	D：サイバーセキュリティ対策の運用状況に係る項目を追加。（全10項目）		サイバーセキュリティ対策の運用状況の確認に必要な情報を収集するため。
	別紙A：「自組織の重要サービスの提供を継続する上で、（以下略）」の問を本文から別紙Aに移行し、自組織のサービス毎に特に依存している重要なサービス3業種をブルダウン方式にて選択。		横断的リスク評価に必要な情報を収集するため。
	別紙A：業務に係る最大許容停止時間(MTPD)の問を追加。		
	E⑤、⑥：2020年度に更新・新規導入を予定している重要サービスに関係するシステムに係る項目を追加。	第4回説明会 2019年1月	大会期間中、もしくはその直前にシステムの更新・新規導入を予定している事業者の動向を確認するため。
	前回質問との差異を明示。		事業者における実施結果提出様式の入力負担を軽減するため。
	実施結果提出様式で未記入の部分がある場合、未記入部分があることをA～Eの大項目及び全体で表示。		事業者における実施結果提出様式の入力・記載漏れなどを防ぐため。
	別紙A、B：通し番号を追加。	第5回説明会 2019年9月	フィードバックの際に該当箇所を明示的に示すため。
	前回実施結果以降の記載内容の追加・修正の有無に係る設問及び残留リスクの収集に係る設問を追加。		要対応リスクに対する対策の網羅的な検討を促進するため。
	残留リスクの個数（各要因ごと）を収集するための様式（別紙C）を追加。		要対応リスクに対する対策の網羅的な検討を促進するため。
	取組について：設問、見直しの実施状況、2020年までに対応が完了しないリスクの有無、計画策定・訓練実施状況に係る設問を組み換え。	旧第6回 2020年3月	環境変化を踏まえた対応体制の強化の促進及びリスクが顕在化した場合の対応体制が確保されていることの確認を行うため。
	設問について： A～Dについては、第5回取組時の設問を記載。Eについては設問を一部見直し。 別紙の構成について： 第5回と同様に別紙A、別紙B、別紙Cに変更。	第6回 2020年10月	大会延期による環境変化を踏まえ、これまでのリスクアセスメント実施結果の見直しを行うため。 また、「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う環境変化を受けた重要サービスの継続性の確保」や「重要サービスの継続性に係る訓練の実施状況」について確認するため。
	別紙Cについて： 「2021年6月末時点で残留することが明らかになったリスクの個数及び残留リスクに対する対応体制の確認状況」の各項目に、「今後確認予定」欄を追加。		各事業者等の取組の状況を正確に把握するため。
別添 2 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催概要	大会概要を更新。	第2回説明会 2017年7月	第1回のリスクアセスメント説明会（2016年9月）から、第2回リスクアセスメント説明会（2017年7月）までの期間で明らかになった情報を反映。
	補足情報の一部更新。	第4回説明会 2019年1月	第3回のリスクアセスメント説明会（2018年5月）から、第4回リスクアセスメント説明会（2019年1月）までの期間で明らかになった情報を反映。
	大会概要、補足情報の一部更新。	第5回説明会 2019年9月	第4回のリスクアセスメント説明会（2019年1月）から、第5回リスクアセスメント説明会（2019年9月）までの期間で明らかになった情報を反映。
	大会概要、補足情報の一部更新。	旧第6回 2020年3月	第5回リスクアセスメント説明会（2019年9月）から、2020年3月までの期間で明らかになった情報を反映。
	大会概要、補足情報の一部更新。	第6回 2020年10月	大会延期に伴い変更された情報を反映。
	大会概要、補足情報の一部更新。	第6回 2020年10月	大会延期に伴い変更された情報を反映。
別添 4 リスクシナリオ及び演習シナリオ	新規追加。	第5回説明会 2019年9月	リスクが顕在化した場合の対応体制の強化を促進するため。
	シナリオの追加。	旧第6回 2020年3月	環境変化を踏まえた対応体制の強化を促進するため。
	求められるインシデント対応例の追加。		具体的な対応例を提示し、対応体制の強化を促進するため。
	利用ガイドの削除		資料組み換えのため。
	環境変化に伴う新たなリスクを基にしたシナリオ及び最新の事故事例を基にしたシナリオの追加。	第6回 2020年10月	新型コロナウイルスの感染拡大や大会延期による環境変化等を踏まえた対応体制強化を促進するため。

※本資料内では、東京2020大会の延期が決定する前に、2020年4月から5月に実施する予定であった第6回リスクアセスメントの取組を「旧第6回」と表しています。

※軽微な修正はこの表には記載していません。